

感染対策費用の寄付募集を開始いたしました

晩秋の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、皆様もご承知のように、令和2年8月29日当法人が運営します特別養護老人ホーム伊勢マリンホーム従来型で、職員・入居者中20名が新型コロナウイルス感染症に罹患するという大規模クラスターが発生いたしました。

その後、職員の懸命の努力により、約1か月後の9月28日には鈴鹿保健所より終息宣言を頂き、とりあえずの終了を迎えることができましたが、2か月たった今でも新規利用者の受け入れ中止など、完全な形での再開には至っておらず、また、経済的損失については、国、県からの支援をはるかに上回る等、完全に傷が癒えることなく事業運営を継続しております。

そんな中、クラスター発生直後より、関係者方々に於かれましては、必要物資の提供や、人材派遣申し出等様々な形でご支援を頂き、クラスターを終息させるためにはなくてはならないものであったと感謝の念は堪えませんが、ただこちらの広報不足、説明不足というのもあり、なにをどのように支援すればよいかわからなかった等のご意見を頂くことも多く、実際のご支援に当たっては非常に悩まれたことと思われまます。

三重県内において介護施設でのクラスター発生は初発であり、何もかも手探りの中でこの数か月は走ってまいりましたが、これをきっかけとし、今まで培ってきたものを引き継ぎ、今後新しいステージに向かうという当法人の決意表明として、皆様のお気持ちを集めることができるクラウドファンディングという手法で、11月11日より12月25日までの44日間に限定し感染対策として空調設備の費用370万円を目標に寄付を募集することといたしました。

今回は、All or Nothing方式での挑戦のため期間中に目標である370万円の寄付が集まらなかった場合、寄付金をみなさまに返金するという挑戦になっています。

新型コロナウイルス感染症という未知のウィルスを前に、正しい知識を持って対峙し、今後も地域の方々にご利用していただける良質なサービスを提供し、地域の方々の福祉を守っていくという法人使命を果たしていくためにも、何卒皆様のご支援よろしくお願い申し上げます。

なお、クラウドファンディングの詳細内容につきましては、当該ホームページでご確認いただけますのでよろしくお願い申し上げます。

<https://readyfor.jp/projects/isemarin/>



社会福祉法人 伊勢湾福祉会
理事長 大倉徹也